

会議録

会議の名称	平成26年度忠岡町第2回防災会議
開催日時	平成27年3月17日(火)14時00分から16時00分まで
開催場所	忠岡町シビックセンター3階研修室1・2
公開の可否	公開可
事務局(担当課)	自治防災課
傍聴者数	1人
非公開の理由	
出席委員	28人
会議の議題	忠岡町防災計画の見直しについて
配布資料	有り
会議の内容	忠岡町防災計画の見直しについて

会議の内容	
発言者	発言の要旨
	開会
会長	開会の挨拶
事務局	資料説明
委員	従来の防災計画との変更点は？
事務局	大阪府の地域防災計画に習い、被害想定の見直し(レベル2)、避難行動要支援者への配慮、女性の視点、避難所の地域指定が修正のポイントである。
委員	防災計画は、災害対策の骨格であり、計画に書かれていることに具体的なアクションを起こさなければならない。また、この計画の改訂に伴い自治会等各種団体の規約や他部局の計画の見直しもお願いしたい。それぞれの部局で災害時にどういった行動をするのか把握して欲しい。
委員	男女共同参画の観点から女性専用の相談所を作って欲しい。第2編第1章には、乳幼児についても記入して欲しい。
委員	忠岡町は東西に長く、海に面しており、湾岸の埋立地とは橋1本しかつながっていない。形状についての記述、埋立地の災害対応、住民の数、企業との連携はどうなっているのか。
事務局	形状についての記述はない。海側は津波の対策、本線より山手は洪水対策を進めていく。臨海線は埋立地であり南側の貯木場には水門がある。新浜二丁目の人口は5名程度であり、企業については各社と協定は結んでいないが、年に一度木材コンビナート協会と情報伝達訓練を行っている。
委員	臨海線においては、高速道路に上がる等の避難方法を考えているのか。大阪府の防災計画を書き換えたものには見え、町独自の方法を考えて欲しい。独自の計画をあわせた企業とのやりとりをして欲しい。岸和田市民病院が災害の拠点となっているが、受け入れてもらえる話になっているのか。町内の民間病院との協定の有無を教えて欲しい。
事務局	高速道路には出入り口がないので選択することはできない。南海本線も高架化されていない。また、その予定もないので検討していない。本町の被害想定では、94分で津波が到達する。新浜においては津波の発生や避難方法について周知することに力をいれている。病院については岸和田との再編時の協定で災害時の医療体制についての協定を結んでいる。聖祐病院に事情を説明した結果、協力してもらえると返答がある。協定はまだ結んでいない。
委員	ひとつでも多くの病院にお願いしたい。聖祐病院以外では駄目なのか。
事務局	ベッドの数等さまざまな条件で病院か診療所で分かれる。診療所では駄目だということはない。
委員	医療体制については保健所でも対応している。被災地内の患者は被災地外の病院に入ってもらう。病院も被災しているため災害を免れたところに患者を受け入れてもらう。診療所は、当直の対応等の規模的な条件において災害拠点とするのは難しい。医療救護班については、泉大津医師会でできる限り対応してもらう。災害後安定期に入れば通常業務を中心にやってもらう。被災地外からこられた医師の配置については医師会、保健所、市町村において調整を行い、病院ごとの役割については、これから話し合っていかなければならない。
事務局	防災計画の改訂については本案でご異議ございませんでしょうか
委員	異議なし
事務局	本案のとおり改訂させていただきます。